

シーズ技術名
ブース技術名

DNA マーカーを用いた園芸植物の品種改良

園芸植物の染色体物理地図や DNA マーカーの開発

技術分野分類 38010 植物栄養学および土壤学関連

技術キーワード DNA マーカー、品種改良

産業分類 A 農業

内 容	概要	DNA マーカーとは、染色体上の目印のようなもので親から子へ遺伝します。この DNA マーカーのうち、花の色のように目に見える形質や病害抵抗性といった農業上重要な形質と連鎖関係（すなわち、まったく同じように遺伝する）にあれば、将来備わる形質を極めて早期に判別でき、育種年限を大幅に短縮できます。我々は、園芸植物の染色体物理地図や DNA マーカーの開発を行っています。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	染色体物理地図の構築 例えは ダイコンの染色体物理地図の作成
	本技術の有用性	<p>園芸植物の分離集団（基本は F2）を作成。 AFLP や RAPD など汎用マーカーを大量に用いて高密度連鎖地図を作成。 また、SSR マーカーの開発も行うことが可能。 他の集団でも利用可能な地図の作成。</p> <p>重要な形質（色や病害抵抗性など）に連鎖する マーカーの選抜と STS 化。 他品種に適用可能な DNA マーカーの開発と新品</p>
技術シーズ保有者	名城大学 農学部 生物資源学科 教授 津呂 正人	
技術シーズ照会先	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp	

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2019年12月13日